

山岳スキー競技日本選手権大会スタッフ役員業務

(直前に微調整もあり得ることをご理解願います)

男子カテゴリー1

スタート→誘導X→旗門A→誘導U→旗門B→旗門C→旗門A→誘導Y→誘導Z→旗門D→旗門E→旗門F→誘導W→旗門G→旗門H→誘導X→旗門A→誘導U→旗門B→旗門C→旗門A→誘導Y→誘導Z→ゴール

男子カテゴリー2, 3 女子、少年

スタート→誘導X→旗門A→誘導U→旗門B→旗門C→旗門A→誘導Y→誘導Z→旗門D→旗門E→旗門F→誘導W→旗門G→旗門H→誘導X→旗門A→誘導Y→誘導Z→ゴール

旗門員・誘導員の業務

誘導員 X (2名)

一般スキーヤーとの衝突交差回避、A方向選手誘導(全選手=2回)
通過表チェック、最終通過連絡 X~Hのコース旗回収

旗門員 A地点(4名) A旗門設置

X→下りB方向 シール外しチェック(カテゴリー1=2回 カテゴリー2など=1回)
通過表チェック

C→下りY方向 スキー装着チェック(カテゴリー1=2回 カテゴリー2など=1回)
通過表チェック カテゴリー1=2回目・通過連絡

X→折返し→下りY方向 シール外しチェック(カテゴリー2など=2回目・折返し)
通過表チェック カテゴリー2=2回目・通過連絡

A~X~D、A~Yのコース旗回収

誘導員 U (2名)

シュルンド回避誘導 Bの最終通過連絡後旗門員Bに合流 旗門回収

旗門員 B地点(3名) B旗門設置

上りC方向シール装着チェック、
通過表チェック(カテゴリー1=2回 カテゴリー2=1回)

最終通過連絡 最終選手通過後Uと合流 B~A、B~Cのコース旗回収

旗門員 C地点(3名) C旗門設置

スキー外しザックへの装着チェック(カテゴリー1=2回・カテゴリー2=1回)
C~Aのコース旗回収

誘導員 Y (2名)

一般スキーヤーとの衝突交差回避、選手誘導 通過連絡 Y~Zのコース旗回収

誘導員 Z (3名)

一般スキーヤーとの衝突交差回避、選手誘導 通過連絡 スキー場上部を含む

旗門員 D地点(3名・本部用具検査係を兼務) D旗門設置

E方向シール装着チェック 通過表チェック(カテゴリー1・2=2回)

旗門員 E地点(3名・本部用具検査係を兼務) E旗門設置

E地点からF地点までつぼ足トレースを2本つける。

移動F方向 スキー外しザックへの装着チェック

旗門員 F地点（3名） F旗門設置、E地点からF地点までつぼ足トレースを2本つける。

E→上りE方向 スキー装着チェック

誘導員 W（2名）

選手誘導 通過チェック 最終通過連絡 W～F～E～Dのコース旗回収

旗門員 G地点（3名） G旗門設置

W→下りH方向 シール外しチェック（全選手＝2回）

通過チェック 最終通過連絡 G～H G～Wのコース旗回収

旗門員 H地点（3名） H旗門設置

G→上りX方向 シール装着チェック G旗門員の旗回収到着後ゴール地点へ

無線中継（1名） A旗門周辺

通信困難区域と本部との通信中継（コース旗回収の目処が立つまで）

A旗門補助

レスキュー班（3名）

無線中継地点に待機、状況に応じた移動、対処

雪崩判断・監視（3名）

遭対協・コース内フリーで対応、適切な箇所への配置及び対応

適切な箇所に待機または移動し、不測状況に対応

S・G内役員の業務

場内誘導員 スタートゴール付近（1名+）

ゴール方向指示 スキーヤーとの衝突回避のための誘導

スキー場内コース旗回収

本部スタッフで状況に応じ、配置する。

会場係

会場準備 スタート地点の両側にスタート・フラッグを設置

ゴールエリアの設置

ゴール・フラッグを立てて、それを中心にギャラリーネットの設置、テント

設営 その他SG付近の全体掌握

スタート・フィニッシュ 上記のスタート、ゴールラインの遵守指示、選手召集指示

選手招集 スタート前選手確認

1名ずつスタートラインへ進める。アバランチビーコン発信チェック

用具検査係 ゴールした選手の持ち物検査（スタート時は選手責任、チェック無し）

不足装備があったときは、競技審判に報告。

ゼッケン（ザックに取り付け）安全ピンのみを回収。

計時計算係

計時計算 スタート時間のセットとゴール選手の計測

スタート・フィニッシュ ゴールした選手の所用時間の計測、順位をつけ記録する。

通告 ゴール手前で選手ゼッケン番号をハンドマイクで連絡

ゴール内で順位確認とゼッケン確認

記録 ゴール選手、タイムの記録。

映像記録 ゴール選手のゼッケン（選手ザックに）の撮影による順位記録。

ゴール記録VTR撮影、ゼッケンナンバーのコールVTRへの録音

旗門員等からのデジタル画像収集。

リザルト 成績記録を精査し、リザルトを作成発表

報道係長	マスコミへの記録提供など（日山協で対処）
庶務係	計時・計算と連動し表彰状の作成。 順位表(模造紙へ)男子 10 位、女子 4 位までの作成。
会計係	収入支出関係管理
レスキュー班長	本部と連携し、レスキュー班の掌握、指示。
医務班	レスキュー班からの引継ぎ、処置、医療施設搬送
接待係	来賓、協賛企業など来場者への対応。
事務局長	事務系統全体掌握。
日 程	

4月5日	土	<p>10時 コース公開</p> <p>13時 選手登録開始 梅池高原観光協会事務所 同じ場所で</p> <hr/> <p>8時30分 大阪経済大ヒュッテ堀班集合（降旗さん同行で現地作業）</p> <p>10時 第1陣スタッフ集合（別途指定します）</p> <p>13時 全スタッフ集合 用品受領、競技運営説明</p> <p>14時30分～15時 上部スタッフ、ゴンドラ乗車 乗り継ぎ 大阪経済大ヒュッテへ</p> <p>タ刻より スタッフ交流会（梅池高原ホテルにて） 宿舎交流運営 長山協 田中幸雄 西澤晃</p> <hr/> <p>15時30分 開会式+コースフリーフィング開始</p> <p>16時30分 開会式終了</p> <p>19時30分 選手懇親会</p>
4月6日	日	<p>随時 旗門、誘導スタッフ出発（ヒュッテ及びホテルより） 9時を目安に配置完了</p> <p>7時30分 役員集合 コースの最終決定 当日スタッフ集合</p> <p>8時 梅池ゴンドラステーション 前 選手集合</p> <p>8時30分 スタートエリアでの 選手受付</p> <p>9時30分 レーススタート</p> <p>12時30分 頃 レース終了 選手 食 事</p> <p>13時30分 表彰式 閉会式</p> <p>スタッフは必ずゴールエリア誘導主任（長山協理事長：大西）に下山報告、食券及び旅費を受け取る。スタッフは業務終了後、ゴールエリアまで単独での下山はしないようお願いします。</p> <p>スタッフ昼食 スタッフ昼食は「カフェテリア梅の森」を基本とする。 （状況によって中間駅レストランとなる）</p> <p>用品返却 梅池高原観光協会事務所前にて 旗門用品、スタッフ用ビブス、無線機等</p> <p>随時解散 15時頃</p>

ただし、当日の天候、雪の状況によりコース変更等の可能性があるため、レース直前まで担当、配置の変更の可能性があります。